

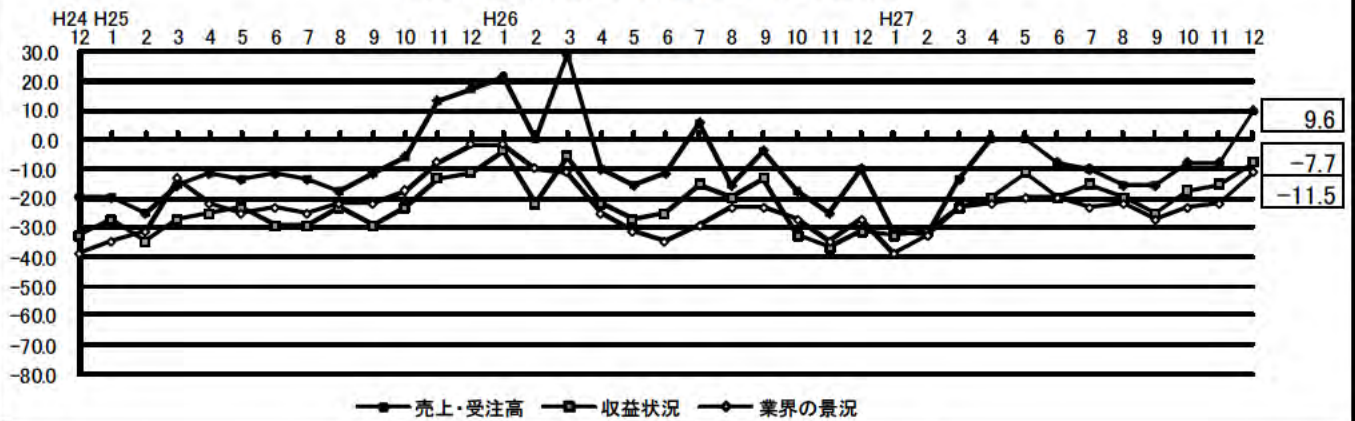
中小企業団体情報連絡員報告結果(平成27年12月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 12月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「販売価格」「収益状況」「業界の景況」の4指標が上昇し、「在庫数量」「資金繰り」「設備操業度」「雇用人員」の4指標が低下した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より17.3ポイント上昇の9.6ポイント、「収益状況」が7.7ポイント上昇の-7.7ポイント、「業界の景況」が9.7ポイント上昇の-11.5ポイントであった。
- 「売上高」が10ポイントを超えて大幅に上昇し、「収益状況」「業界の景況」が5ポイントを超えて大きく上昇した。「設備操業度」が10ポイントを超えて大幅に低下した。「収益状況」「業界の景況」が3ヶ月連続で上昇し、「資金繰り」が2ヶ月連続で低下した。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	9.6	17.3	-17.4	-1.8
収益状況	-7.7	7.7	-20.0	0.6
業界の景況	-11.5	9.7	-23.2	-0.8

売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月より17.3ポイント上昇の9.6ポイントとなった。全国においては、前月より1.8ポイント低下の-17.4ポイントとなった。

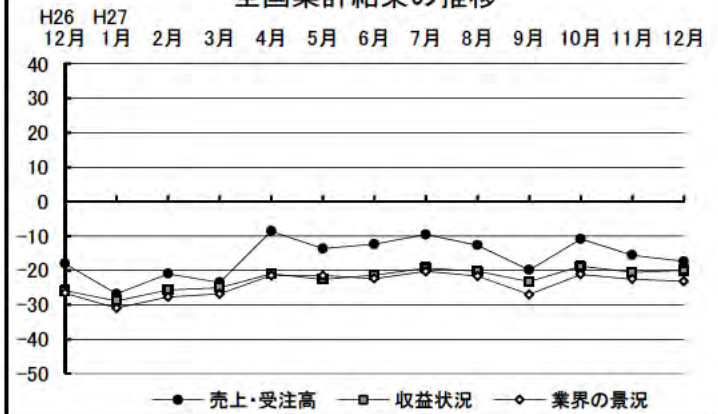
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より7.7ポイント上昇の-7.7ポイントとなった。全国においては、前月より0.6ポイント上昇の-20.0ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より9.7ポイント上昇の-11.5ポイントとなった。全国においては、前月より0.8ポイント低下の-23.2ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概況-

12月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上」「価格」「収益」「景況」の4指標が上昇し、「在庫」「資金」「操業」「雇用」の4指標が低下した。主要3指標は、「売上」が前月より17.3ポイント上昇の9.6ポイント、「収益」が7.7ポイント上昇の-7.7ポイント、「景況」が9.7ポイント上昇の-11.5ポイントであった。指標を個別に見ると、「売上」が10ポイントを超えて大幅に上昇し、「収益」「景況」が5ポイントを超えて大きく上昇した。「操業」が10ポイントを超えて大幅に低下した。「収益」「景況」が3ヶ月連続で上昇し、「資金」が2ヶ月連続で低下した。

また、業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中3業種が上昇、1業種が低下し、非製造業で6業種中4業種が上昇した。「収益」は製造業で1業種が低下し、非製造業で3業種が上昇した。「景況」は製造業で1業種が低下し、非製造業で5業種が上昇した。

全国指標では、前月の前年同月比DI値と比べて9指標中4指標が上昇し、5指標が低下した。緩まない暖冬傾向が歳末商戦にも波及して、季節需要を大幅に失速させたことに加えて、消費者の儉約志向や貯蓄性向も依然として強まっており、売上高の減退を招いている。また、継続するデフレ基調において、先行き不透明な原油安や熾烈な価格競争等がさらなる物価下落に拍車をかけており、新年に向けての中小企業の景気動向も予断を許さない状況にある。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	操業	雇用	景況
食料品製造	△	×	△	△	×	△	△	△	△
繊維・同製品	△	△	△	△	△	×	△	△	×
木材・木製品	△	△	△	△	△	△	△	△	△
印刷	×	△	×	△	×	△	△	△	×
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	×	△	△	×	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	○	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	△	△	△	△	△	×	—	△	△
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	△	△	△	△	—	△	△

○ 増加・上昇・好転
(DI値 +40ポイント以上)

△ 不変

× 減少・低下・悪化
(DI値 -40ポイント以下)

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	操業	雇用	景況
食料品製造	25.0	-50.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	25.0	0.0	25.0	-25.0	-25.0	-50.0	-25.0	-25.0	-50.0
木材・木製品	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	-25.0
印刷	-100.0	0.0	-100.0	0.0	-100.0	0.0	0.0	0.0	-100.0
窯業・土石	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
鉄鋼・金属	-25.0	-50.0	0.0	0.0	-50.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
一般機器	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
小計	0.0	-8.0	0.0	-4.0	-24.0	-8.0	-16.0	0.0	-24.0
卸売業	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0		0.0	33.3
小売業	14.3	0.0	28.6	-14.3	-28.6	-42.9		14.3	-14.3
サービス業	0.0		0.0	0.0	33.3	0.0		-33.3	0.0
建設業	20.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	20.0
運輸業	25.0		25.0	0.0	25.0	0.0		0.0	-25.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小計	18.5	10.0	14.8	0.0	7.4	-11.1		-3.7	0.0
合計	9.6	-2.9	7.7	-1.9	-7.7	-9.6	-16.0	-1.9	-11.5

図表3～【指標別DI値の推移】

	H26	H27											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	-9.6	-30.8	-32.7	-13.5	0.0	0.0	-7.7	-9.6	-15.4	-15.4	-7.7	-7.7	9.6
在庫数量	-8.6	-14.3	-11.4	0.0	-8.6	5.7	-2.9	-8.6	0.0	-8.6	-20.0	0.0	-2.9
販売価格	5.8	3.8	3.8	5.8	1.9	9.6	7.7	11.5	7.7	3.8	7.7	3.8	7.7
取引条件	-7.7	-11.5	-9.6	-3.8	-5.8	-9.6	-7.7	-3.8	-1.9	-7.7	-1.9	-1.9	-1.9
収益状況	-30.8	-32.7	-30.8	-23.1	-19.2	-11.5	-19.2	-15.4	-19.2	-25.0	-17.3	-15.4	-7.7
資金繰り	-15.4	-19.2	-11.5	-5.8	-7.7	-11.5	-11.5	-13.5	-11.5	-11.5	-3.8	-5.8	-9.6
設備操業度	-16.0	-16.0	-36.0	-16.0	-24.0	-8.0	-20.0	-8.0	-8.0	-16.0	-20.0	-4.0	-16.0
雇用人員	-7.7	-19.2	-13.5	-17.3	-11.5	-13.5	-15.4	-17.3	-7.7	-7.7	-3.8	0.0	-1.9
業界の景況	-26.9	-38.5	-32.7	-23.1	-21.2	-19.2	-19.2	-23.1	-21.2	-26.9	-23.1	-21.2	-11.5

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	操業	雇用	景況
食料品製造	25.0	-75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
繊維・同製品	50.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	25.0	0.0	-25.0
木材・木製品	-50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	25.0	0.0
鉄鋼・金属	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小計	8.0	-8.0	4.0	-4.0	-4.0	-4.0	-12.0	0.0	-4.0
卸売業	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	-	0.0	33.3
小売業	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	-28.6		0.0	14.3
サービス業	16.7	-	0.0	0.0	33.3	16.7		-16.7	33.3
建設業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	20.0
運輸業	50.0		0.0	0.0	50.0	0.0		0.0	25.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小計	25.9		10.0	3.7	3.7	18.5		-3.7	-3.7
合計	17.3	-2.9	3.9	0.0	7.7	-3.8	-12.0	-1.9	9.7

特記事項

情報連絡員報告（平成27年12月分）

所属組合	特記事項
味そ製造業	全体的に大きな変化はなく、消費税等の影響も落ち着いているが、収益に関しては原材料、特に大豆の価格高騰が影響している。
酒類製造業	いよいよ寒造りの季節が到来した。とはいえ、酒造りには気温が高すぎるため、蔵元も四苦八苦している。
染色整理業	長引く不況で、収益状況、資金繰りに影響している。
一般製材業	年末のため加工数量は多少伸びたが、良好とは言い難い。また、12月は員外利用の仕事が多く、販売価格を抑えた分収益としては下がっている。
建具製造業	年末の需要増加に期待をかけている組合員が多かったが、盛り上がりには欠ける状況であった。 組合の手がける「WOOD INFILL」がグッドデザイン賞に続きウッドデザイン審査委員長賞を受賞した。今後の販売増加に寄与してくれることと願っている。
印刷業	ニーズの変化、需要の縮小、過当競争、低価格、原材料価格の上昇など厳しい経営環境に変わりはない。明るい見通しが全くない。
金属製品製造業	自動車は、小型車・軽自動車は好調ようであるが、普通車・大型車は良くない。
金属製品製造業	自動車部品に関しては、富士重工の下請企業は相変わらず受注が安定している。自動車金型の受注も順調だが、資金繰り面では悪化している。原因は発注先との取引条件が変わり、代金回収までの期間が延びてしまったため。 全体的に自動車部品製造企業では人手不足となっている。
一般機械器具製造業	本年12月は、前年同時期と比較し、ほぼ前年同様の結果報告であった。ただし、全般的に不景気感が感じ取れる。
一般機械器具製造業	新規受注、売上高は少しずつ好転してきている。機械加工の工程改善を行い、効果が出てきているために、少しずつであるが稼働率は良くなってきている。新規客先へのアプローチもようやく身になりつつあり、今後大きく期待できると思われる。雇用人員に関しては、中途採用で補強をし、生産に寄与すべく現在教育中である。従業員の平均年齢が高くなっており、技術の伝承を考えるとまだまだ対応が必要であり、若い新入社員の雇用も含めて考えている。製造業として独自性のある取り組みをしようと、新規設備導入を含めて対策を行っている状況である。
各種商品卸売業	業況としては、昨年同期と比較して大きな変化はなかった。 建設資材卸売業では、12月に入り徐々に仕事量が増えてきているが、人手不足の状況下にあるため、工期が1ヶ月位遅れることもあり、商品の流れが鈍い。 車を毎日利用する卸売業者からは、最近のガソリン価格下落傾向について、とても助かっているという声や、今後は1ℓあたり100円前後の値段で安定してほしいという声が多かった。
食肉小売業	牛・豚肉の国産と輸入品の相場が高くなったが、売価に反映できず、薄利の商いが続いた。
中古自動車小売業	県外から大型店が進出。組合員として加入も、既存店の苦戦が予想される。
各種商品小売業	天候の関係で衣料品は大変苦労したと聞いている。特に厚手の物（高価品）が売れなかった。 また、年末商戦も普段と変わらず、盛り上がる様子は見受けられない。

各種商品小売業	<p>第1週に実施した誕生30周年セールにおいては、前年比120%近い売上を計上することができた。しかしながら、2週目以降は微減となり、全体としては105.5%という結果であった。</p> <p>今後の懸念材料として、暖冬による冬物クリアランスの伸び悩みが起こる恐れがある。その点を考慮しつつ、早め早めの売場展開、売場作りを心がけていきたい。</p>
花・植木小売業	<p>松、千両、正月用鉢物については、生産量の減少から入荷は少なめとなった。切花の入荷は、暖かな気候の影響で不安定となったが、相場は前年並みで推移した。</p> <p>クリスマス需要は年々落ち込みが見られる。年末の贈答用として人気のシンビジウムやシクラメン、また、お正月家庭用の花についても動きが鈍かった。</p>
理容業	<p>年末ということで、来客数は前月と比較して増加した。</p>
自動車整備業	<p>雇用人員の減少があり、操業度に若干影響があった。</p>
ビルメンテナンス業	<p>特に問題なく、前年並みの状況で推移した。</p>
給食センター	<p>平成27年3月末で不採算部門の撤退があり、売上高は前年同月比で大幅な減少となった。食材の価格値上げ等はあるが、不採算部門の撤退・新調理法で製造した弁当の拡販・コストダウン等により、収益は改善されると思われる。</p>
旅館・ホテル	<p>今年度12月の業況は、昨年度に比べて不変の様相。そのような中、忘新年会が減少気味だ。また、今年は雪不足のため、1・2月にかけてのスキー客の入込も気になる。</p>
内装工事業	<p>栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数から見ると、前年同月比カーテン用ラベルは59%増、敷物用ラベルは57%減、壁装用ラベルは14%増であった。</p> <p>4～12月累計では、カーテン用ラベルは22%増、敷物用ラベルは38%増、壁装用ラベルは14%増であった。</p> <p>ラベルの支給金額の前年同月比は21%増、4～12月累計では18%増であった。</p>
一般貨物自動車運送業	<p>例年年末は荷動きが増加するが、本年は前月、前年同月に比べて低調に推移した。ドライバー不足など稼働率低下によるものと思われる。</p>
貨物軽自動車運送業	<p>クリスマスシーズンから年末にかけて、食料品関連貨物の増大や、栃木県内の某自動車メーカーの水素燃料自動車試作部品の輸送などにより、やや上向き基調に転じた。</p> <p>ドライバー不足などの影響により、年末は引越し予約が早くも増大した。</p> <p>今後の世界経済における輸出関連貨物の動向が気になる。</p>
一般乗用旅客自動車運送業	<p>12月初旬は例年と同様だったが、中旬以降はお客様がタクシーを待つ状況が多く見られた。</p>
大谷石採石業	<p>前年同月比較ではほぼ同水準で推移した。地下水のポンプアップによる電気経費の増大と、採石の深さを下げられない等の影響が出ている採石場もある。</p>